

青森県 青森県遊技業協同組合



青森県遊技業協同組合
若林浩司 理事長

■県遊協

- 「文部科学大臣杯争奪・鷹揚旗選抜剣道大会」を後援し、30万円を寄託
- 青森県ろうあ協会に対し30万円を寄付【写真①】
- 青森県交通安全母の会連合会に対し30万円を寄付
- 青森県身体障がい者福祉センター「ねむのき会館」にパラリンピック出場選手への支援金を寄付

■支部

- 板柳地区交通安全協会、板柳地区安全運転管理事業主会、板柳地区安全運転管理者協会に交通安全プレート支援金を寄付（西北五支部）
- 八戸地区万引き防止協力会に万引き防止のぼり旗等を寄贈（八戸支部）【写真②】
- 青森地区少年警察ボランティア連絡会に寄付（青森支部）

■ホール

- 児童福祉施設等にお菓子を寄贈（朝日会館・朝日ドーム・ライジング堅田・マルハン浜田店・ガイア根城店・USA青森・USA弘前店等）
- 日本赤十字社に東日本大震災復興義援金を寄付（朝日土手町店・フォーラム1 藤崎店・フォーラム1 神田店等）



青森県ろうあ協会に寄付【写真①】



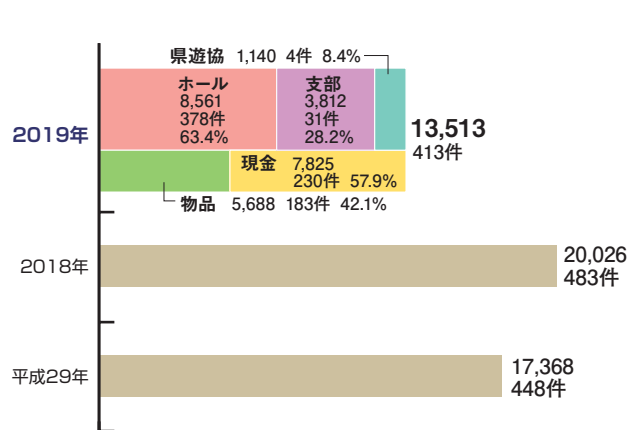
万引き防止のぼり旗等を寄贈【写真②】

DATA

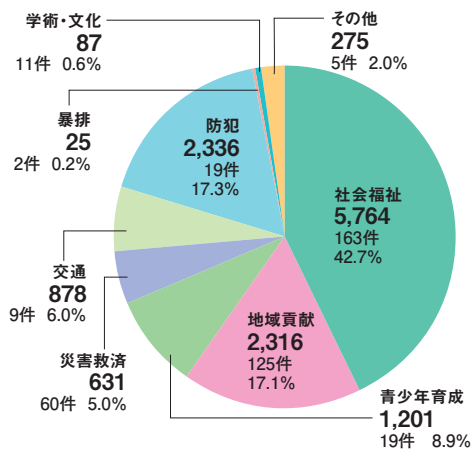
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



岩手県 岩手県遊技業協同組合



岩手県遊技業協同組合
工藤 嘉 理事長

■県遊協

- 無料配布のヤクルト年賀商品を各ホールで購入して、年賀シールの貼付作業を行なった社会福祉法人授産4施設に貼付謝礼金として26万円を寄贈【写真①】
- 児童養護施設「和光学園」の幼児から高校生までの児童・生徒37人を岩手ヤクルト工場見学に招待。生産工程を見学したほか、工作教室を開催して、万華鏡づくりを実施
- 社会貢献の一環として、各支部組合と一丸となって、9会場のホール駐車場において献血活動を実施し、144名（200ml換算285本）が献血に協力

■支部

- 児童養護施設「和光学園」の子どもたち41人をホテルに招待して、ランチ交流会を開催。テーブルマナーを学びながら、全員に当たるビンゴゲームで交流を図る（盛岡遊技業組合 青年部会）
- 児童養護施設「藤の園」に児童へのクリスマスプレゼントを持ってサンタクロース慰問をしたほか、施設維持費として5万円を寄付（一関遊技業組合 青年部会）
- 年賀はがきを活用した地域の防犯意識を高める啓発活動に近隣企業とともに協賛（花巻遊技業組合）【写真②】

■ホール

- 台風19号で特に被害の大きかった宮古市重茂地区と田老地区にホールで備蓄している水や携帯トイレ等を寄付したほか、浸水してしまった被災世帯の清掃活動を行い、宮古市災害ボランティアセンターより感謝状を受領（株式会社公案）【写真③】
- ラグビーワールドカップ2019釜石開催のおもてなしとして、ホール内外にラグビーワールドカップののぼり旗を掲げ、釜石観光ガイド、外国語パチンコ・パチスロのガイドブックを配布（クエスト松原・クエスト小佐野）
- 不登校の子どもたちの居場所と学習環境の提供、学習支援、体験活動等を支援する特定非営利活動法人盛岡ユースセンターに活動協力費として81万2,500円を寄付（株式会社アキヤマ）



貼付謝礼金を寄贈【写真①】



年賀はがきを活用した防犯啓発活動に協賛【写真②】



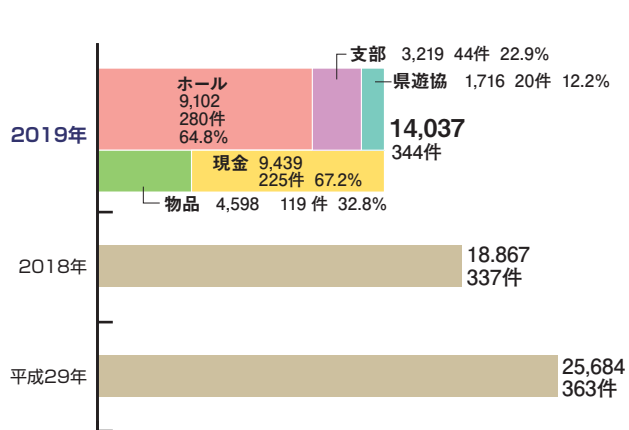
台風被害への復興支援活動に対し感謝状を受領【写真③】

DATA

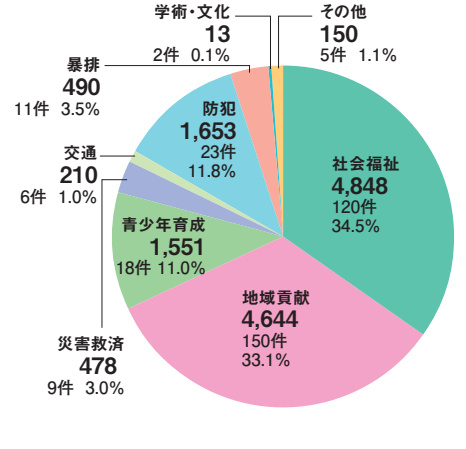
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



宮城県 宮城県遊技業協同組合



宮城県遊技業協同組合
竹田 隆 理事長

■県遊協

- 県民の安全安心な生活に貢献する団体である「宮城県防犯協会連合会」、「宮城県暴力団追放推進センター」へ計200万円寄付したほか、同センターには街頭キャンペーン用ウェットティッシュ等1万個を寄贈【写真①】
- チャリティゴルフ大会を開催し、その寄付金から「みやぎ被害者支援センター」、「日本盲導犬協会仙台訓練センター」へ計100万円を寄付し、さらに、ヤクルト本社東日本支店等との共催で、「年賀シール」貼付作業を4ヵ所の福祉施設に依頼し、貼付手数料のほか計40万円を寄贈
- 東日本大震災復興支援として実施した「東北六県合同ファン感謝デーinみやぎ」の開催に伴う寄付金から「社会福祉法人旭が丘学園」、「特定非営利活動法人子どもの村東北」、「一般社団法人宮城骨髄バンク」の3団体に計200万円を寄付し「特定非営利活動法人子どもの村東北」、「一般社団法人宮城骨髄バンク」から感謝状を受領。【写真②③】

■支部

- 地域の夏祭りに協賛するとともに、地域の防犯活動に協賛する等して地域安全活動に貢献（古川地区遊技業組合）
- 地域の夏祭りに協賛するとともに、地区組合員全ホールにおいて、地区内の福祉施設に寄付金や菓子等を贈呈（気仙沼地区遊技業組合・各ホール）
- 令和元年東日本豪雨災害に対し、日赤を通じ、義援金を贈るとともに、交通安全運動等地域の安全安心活動や道路清掃等を実施（佐沼・登米地区遊技業組合）

■ホール

- ジュニア・シニア等の各年齢層のフットサル大会の主催及び復興祈願若林シーサイドマラソン大会、障がい者施設・老人福祉施設訪問、地域清掃活動等の社会貢献活動を実施（株式会社マルタマ）
- 交通死亡事故抑止活動及び消費者被害防止活動への支援、道路・河川・海岸の清掃活動、豪雨災害義援金の寄付、被災地夏祭り等におけるボランティア活動等の社会貢献活動を実施（扇屋商事株式会社）
- 地域の子どもの健全育成（スポーツ振興）を目的とした寄付金等の贈呈及びホール近隣の児童等福祉施設等に対する菓子等の定期的贈呈（株式会社新井商事・21SEIKI仙台愛子店・アムズガーデングループ・夢広場ニューセブン利府街道店・スロットハウスムサシ・パーラーJ・遊佐沼店・ニラク仙台南店・オータ古川店）



宮城県防犯協会連合会等8団体へ寄付金贈呈【写真①】



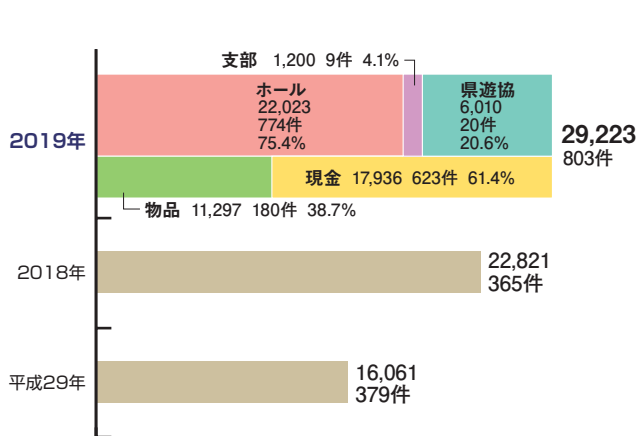
特定非営利活動法人子どもの村東北、社会福祉法人旭が丘学園等へ寄付金贈呈【写真②③】

DATA

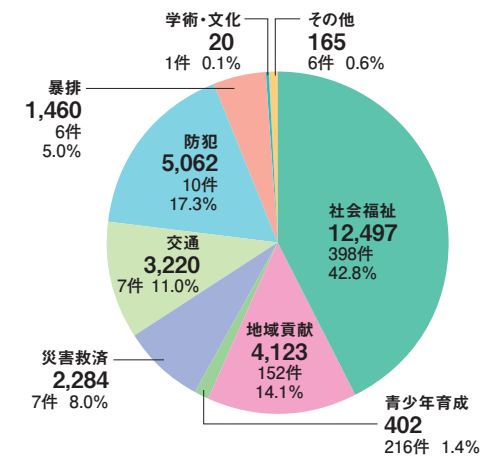
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



秋田県 秋田県遊技業協同組合



秋田県遊技業協同組合
松岡信吉 理事長

■県遊協

- 社会貢献贈呈式を開催し、秋田県社会福祉協議会を通じて県内6施設にアルミ製車いす各々2台計12台（24万円）、秋田県防犯協会連合会に防犯グッズ（30万円）を寄贈【写真①】
- ヤクルト本社東日本と共催で、ヤクルト飲料水への年賀シール貼りの謝礼として、3施設に施設から希望のあった電化製品（12万円相当）を寄贈
- 秋田中央遊技業協同組合と合同で、災害時における災害協定を締結するとともに、避難場所です活用するための電動式エアベット20台を寄贈【写真②】



県内6施設に車いすを寄贈【写真①】



避難所で活用できる電動式エアベッドを寄贈【写真②】



母子支援施設3ヵ所を訪問しミニクリスマス会を実施【写真③】

■支部

- 12月の2日間、秋田市内の母子支援施設3ヵ所を訪問し、図書カード、食料品、菓子等のプレゼント及び秋田県内の手品師、芸人によるミニクリスマス会のイベントを実施（秋田中央遊技業協同組合）
- JR秋田駅前において「子ども車内放置撲滅キャンペーン」を実施。通行人に防犯グッズを配布し撲滅を呼びかけ（秋田中央遊技業協同組合）
- 横手警察署に対して、電話による特殊詐欺被害を防止するため、固定電話に取付ける簡易型自動録音機を贈呈し、警察署では希望する高齢者に提供（横手湯沢地区遊技業組合）

■ホール

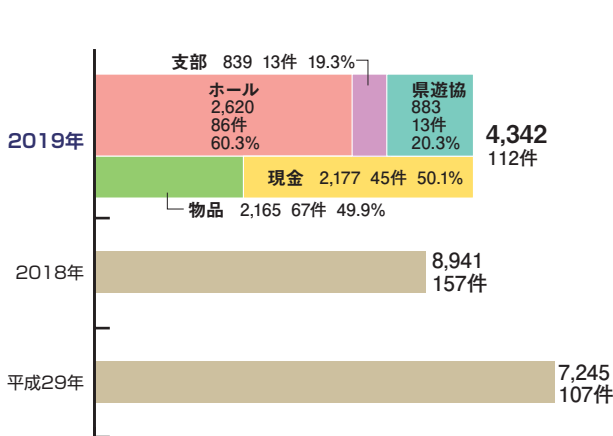
- 毎年秋田県内で行われている「祭りイベント」「スポーツイベント」等を支援し、地域貢献のための協賛金等の実施（chaos大館）
- 年間を通して、地元の社会福祉協議会へ地域支援事業としてお菓子を寄贈（有浦ミロクセンター）
- 年間を通して、地元の社会福祉協議会へ地域支援事業としてお菓子を寄贈（ライジング大館）

DATA

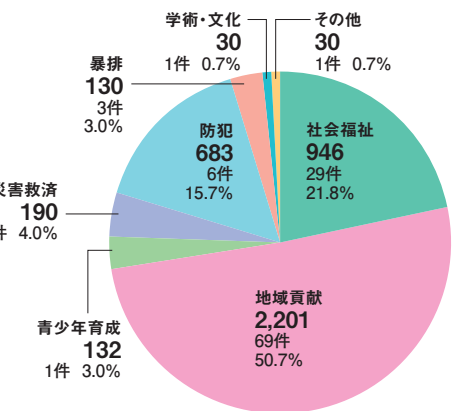
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）





山形県遊技業協同組合
井上 静夫 理事長

■県遊協

- 依存問題対策及び薬物乱用防止の広報活動として「18禁 18歳未満の方は入店できません」「STOP 薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。」と記載した蛍光マーカーを高校生等を対象に配布【写真①】
- 元東京ヤクルトスワローズ選手を講師に迎え少年野球教室を開催し、11チーム76名が参加【写真②】
- 青少年の性的搾取未然防止対策として「児童ポルノは、やらない、もたない、自画取りしない、撮らせない・撮らないことが最強の防御。」と記載したポスター200枚を県青少年補導員連絡会へ寄贈【写真③】

■支部

- 庄内町少年補導員連絡会へ冬期間に街頭で行う非行防止活動のための防寒コート14着を寄贈（庄内支部）
- 楯岡元気なまちづくり協議会へ交通事故防止のためのビニール横断旗や小学生児童に配布するソーラーキーライト等を寄贈（最北支部）
- 最上地区防犯協会連合会へ最上地域8市町村にある小中学校のスクールバスや青色防犯パトロールカーに設置されるドライブレコーダー16台を寄贈（最北支部）

■ホール

- グループ全店に募金箱を設置し、県内の児童養護施設5施設に20万円ずつ、計100万円を寄付。また、チャリティ祭り『にこにこ祭り』を2日間開催し、いじめ撲滅プロレス等、いじめ撲滅を訴える活動を実施（株式会社マル斗）
- 障がい者支援施設の利用者にホールを無料開放し、パチンコ大会を開催（パチンコニューセンター）【写真②】
- 児童養護施設にお菓子を継続的に寄贈、また、地域のイベントやごみ拾い等のボランティア活動にも積極的に参加し地域活動に協力（ニラク万世店）



依存問題対策及び薬物乱用防止の広報活動として蛍光マーカーを配布【写真①】



元東京ヤクルトスワローズ選手を講師に迎え少年野球教室を開催【写真②】



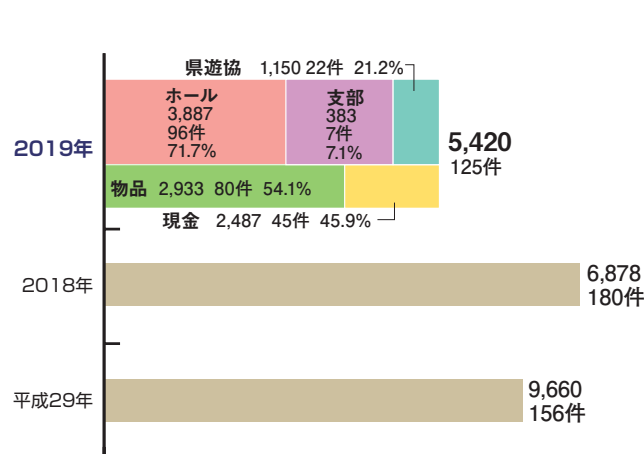
児童ポルノの自画撮り被害未然防止ポスターを寄贈【写真③】

DATA

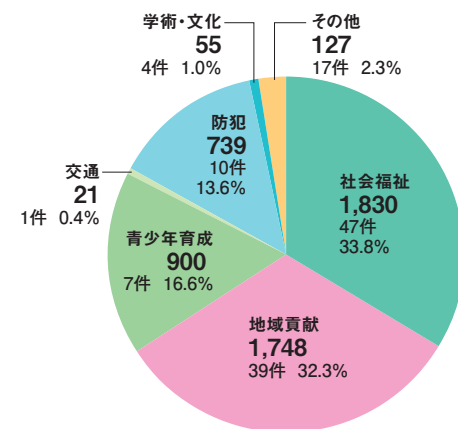
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



福島県遊技業協同組合連合会
諸田 英模 理事長

■県遊連

- 組合員ホールが駐車場巡回時に、下校中の児童・生徒が事件や事故に巻き込まれていないか警戒する「子どもの見守り活動」（駐車場巡回しながら活動）に協力することし、福島県警と県遊連共催で、活動時使用する腕章420枚を作製し県内全ホールに配付。各種警察活動に協力し貢献したとして、福島県警察本部生活安全部長から、感謝状を受領【写真①】
- 福島県警察の後援により福島県遊連主催で、「なりすまし詐欺被害防止」「ばちんこ店等における置ききの被害防止」「子どもの車内放置撲滅」を呼びかけるためのポケットティッシュ3万個作製し福島駅前で、福島市内ホール従業員県警察職員らとともに、ポケットティッシュを配りながら注意喚起を促す等の街頭キャンペーンを実施【写真②】

■支部

- 児童福祉施設福島愛育園、アイリス学園等に寄付金を贈呈（福島地区遊技業協同組合）
- 会津地区防犯協会連合会に寄付金を贈呈（若松遊技業組合）

■ホール

- 「ビックツリーページェント・フェスタ in KORIYAMA 実行委員会」主催のイベントに向けて、地域の専門学校生や先生方のご協力のもと、お子様や小学生、従業員やお客様でイルミネーション用ランプシェード制作のワークショップを開催し、地域の皆様と一緒に「楽しくなるとき」をテーマにした絵や文字でイルミネーションを飾り、明るく楽しい地域環境づくりに貢献（株式会社ニラク）【写真③】



「子どもの見守り活動」に協力【写真①】



ポケットティッシュを配りながら注意喚起を促す等の街頭キャンペーンを実施【写真②】



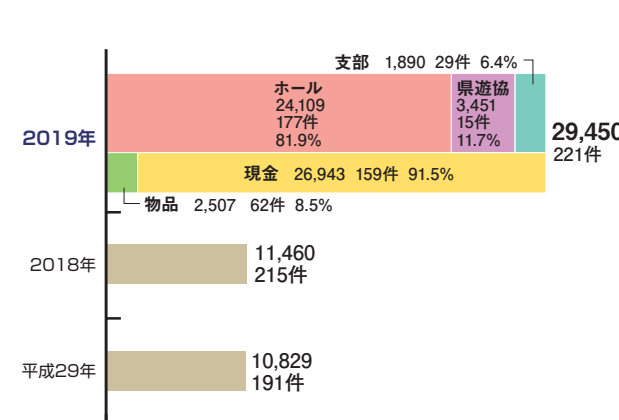
ワークショップを開催【写真③】

DATA

※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2019年現金・物品の割合（単位：千円）



■2019年分野別、拠出額と割合（単位：千円）

